

吉野川市 議会だより



目次

議長・副議長あいさつ	2
委員会構成・会派構成	2
議案の審議から	3
ここが聞きたい	6
代表質問	7
一般質問	11
意見書	15

ふるさと納税返礼品
スイートコーンの収穫

正副議長の改選・監査委員の選任 委員会構成の変更がありました

議長あいさつ



議長 岸田 益雄

市民の皆様には、平素より市政並びに市議会に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

この度、6月議会定例会におきまして、議

員各位のご推挙により議長の重責を担わせていただくこととなり、身の引き締まる思いであります。

さて、人口減少や地方創生への対応は、全国どこの自治体においても喫緊の課題とされています。

本市では、切れ目のない子育て支援体制の推進や鴨島東部地区認定こども園、市アリーナ・交流センターの建設などの施策を実施しており、今後におきま

しては、移住・定住の促進や防災対策など取り組むべき課題は多岐にわたっています。

私たち市議会といたしまして、「市民に信頼される議会・開かれた議会づくり」に努めるとともに、「元気で明るい吉野川市」をめざし、誠心誠意努力する所存でありますので、今後とも市民の皆様方のご指導、ご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

副議長あいさつ



副議長 塩田 智子

この度、6月議会定例会におきまして、議員各位の温かいご推挙により、副議長の職に

就任させていただくことになりました。

大変名誉なことであると同時に、責任の重大さも痛感しております。議長を支え、先輩議員、同僚議員のご指導のもと、本市議会を身近に感じていただける市民目線の議会運営に努めてまいります。

また、厳しい財政状況が見込まれる中、少

子高齢化対策や災害などへの備え、地域の活性化に向け、全力で取り組んでまいれる所存でございます。

今後におきましても、市民の皆様のおかげのご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。副議長就任の挨拶とさせていただきます。

委員会構成

【常任委員会】

■総務常任委員会

委員長 増富義明
副委員長 川村辰夫
委員 岸田益雄
川村洋樹
近久善博
福岡正
岸田秀樹

■文教厚生常任委員会

委員長 相原一永
副委員長 河野利英
委員 細井英輔
桑原五男
田村修司
藤原一正
岡田光男

■産業建設常任委員会

委員長 工藤俊夫
副委員長 山添純二
委員 塩田智子
枝澤幹太
原田由一
阿佐勝彦

【議会運営委員会】

委員長 桑原五男
副委員長 枝澤幹太
委員 工藤俊夫
原田由一
増富義明
相原一永
山添純二

【議会広報特別委員会】

委員長 福岡正
副委員長 岡田光男
委員 河野利英
桑原五男
近久善博
山添純二
細井英輔

【監査委員】

細井英輔

会派構成

薫風会

◎枝澤幹太
◎細井英輔
☆塩田智子
☆河野利英

志誠会

◎桑原五男
◎岸田益雄
◎近久善博

公政・郷土・麻植会

◎藤原一正
◎山添純二

由美会・清風会

◎原田由一
◎福岡正

新進クラブ

◎増富義明
◎田村修司

公明党

◎相原一永

日本共産党

◎岡田光男
◎阿佐勝彦

新しい風吉野川

吉野川市民ファースト

◎川村洋樹

平成30年
6月議会 定例会

議案の審議から

会期：平成30年6月4日～6月22日

6月議会では、条例案3件、予算案3件、議員発議1件、その他4件が提案され、審議されました。

総務常任委員会

▼専決処分の承認を求めることについて（平成29年度吉野川市一般会計補正予算（第7号））

▼専決処分の承認を求めることについて（吉野川市税条例等の一部を改正する条例）

▼吉野川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

▼平成30年度吉野川市一般会計補正予算（第1号）について

▼吉野川市鴨島環境センター解体工事請負契約の締結について

質問

指名競争入札で4社を指名し2社が辞退しているが、辞退の理由は把握しているのか。

環境企画課長

辞退の理由は把握していない。

質問

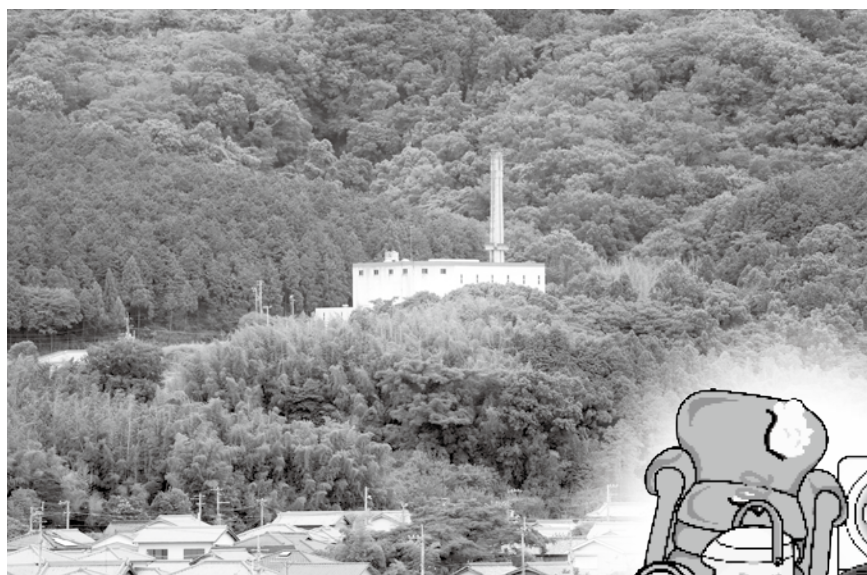
指名競争入札で指名した業者の中に、県内業者がないのはなぜか。建物の解体だけでなく、特殊な技術は不要のように思うが、解体するのに何か特殊な技術が必要なのか。

環境企画課長

ごみ焼却施設の解体は全国的にも件数が少ないため、施行実績のある県外のゼネコンを指名した。

特殊な技術として「ダイオキシンの除染」と「アスベスト除去」が必要となる。

◇以上異議なしで可と決定



鴨島環境センター



審議から

6月議会では、条例案3件、
予算案3件、議員発議1件、その他4件が
提案され、審議されました。

文教厚生常任委員会

▼平成30年度吉野川市一般会計補正予算（第1号）について

質問

生活保護電算システム改修の具体的内容は。

健康福祉部次長

主な見直しは3点あり、1点目は食費や光熱費等に充てる生活扶助基準について、一般所得世帯の年齢、世帯人員、居住地域別の消費実態との均衡を図るための見直しを行った。2点目は、児童養育加算、母子加算、教育扶助等について、必要な見直しを行った。3点目は、生活保護世帯の子どもの大学等への進学を支援するため、一時金を支給する制度が創設されたことによる。

▼吉野川市立図書館条例の一部を改正する条例制定について

質問

指定管理者の選定は、市内業者に限定できないのか。
また、いつ指定管理者を決めるのか。

教育次長

指定管理者の選定については、市内業者だけに限らず幅広く募集する予定としている。

スケジュールは、条例の議決後に指定管理者選定委員会の設置、指定管理者の募集、選定委員会で選定の後、市議会12月議会に指定議案を提案したいと考えている。

質問

なぜ今、図書館を指定管理にするのか。

教育次長

指定管理を導入することで、サービスの向上がメリットとしてあり、開館時間の延長、開館日数の増加、利用者数の増加、貸し出し冊数が増加したという事例がある。また、指定管理にすることにより人材の確保がしやすくなると考えられる。

▼平成30年度吉野川市多目的グラウンド（仮称）整備事業（人工芝工事）請負契約の締結について

質問

整備にあたり国・県等の助成事業はないのか。

教育次長

totto（スポーツ振興くじ）の助成金があり、人工芝と夜間照明の工事が対象となっている。

質問

夏にかけて、暴走族が現れて地元の住民は大変困っている。
防犯カメラを駐車場に設置できないのか。

教育次長

何台も設置することは費用もかかることから難しいが、駐車場については県道を挟んで住宅地もあることから検討していきたい。

◇以上異議なしで可と決定

平成30年6月議会定例会

会期：平成30年6月4日～6月22日

議案の

産業建設常任委員会

▼専決処分の承認を求めることについて（平成29年度吉野川市一般会計補正予算（第7号））

▼専決処分の承認を求めることについて（平成29年度吉野川市農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号））

▼吉野川市アリーナ・交流センター（仮称）建設
工事請負契約の締結について

▼専決処分の承認を求めることについて（向麻山公園における斜面崩壊予防等請求事件に係る訴えの提起について）

質問

結審まで相当な時間がかかると思うが、市はどれくらいの時間を想定しているのか。

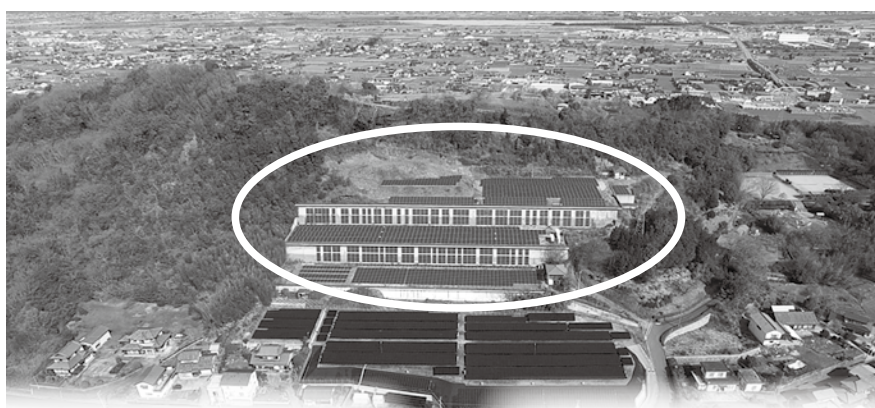
商工観光課長

第2回口頭弁論は7月12日に開催される予定である。

本市としては、被害を受けた向麻山公園の機能回復と周辺住民の身体・生命・財産を守るため、裁判所に市側の訴えを全面的に認めていただけるよう引き続き全力を尽くしたいが、裁判は相当長引くと考えられるので、状況等に変化があれば、その都度、委員会等で報告する。

◇以上異議なしで可と決定

向麻山の上空写真



園路東側クラックの状況



向麻山地すべり箇所

ここが聞きたい

代表・一般質問

6月議会定例会で10名の議員が代表・一般質問を行いました。

●の質問を中心に取り上げました。

代表質問

①枝澤 幹太

- 使用していない公共施設の活用について
- 学校教育について
- 高越小学校・こども園の開校について
- 近久児童館について
- スポーツ行政について

②福岡 正

- 福祉避難所の運営について
- 職員採用試験について
- サテライトオフィスの誘致について

③桑原 五男

- 中心市街地の活性化について
- 危険家屋解体補助事業について
- ふるさと納税について
- 教育関係について
- 中学校での部活動について
- 国民健康保険加入者へのジェネリック医薬品の利用啓発等について
- 民生委員について
- 水道事業について
- セクシャルハラスメント、パワーハラスメントについて

④山添 純二

- 福祉避難所の運営について
- 健康長寿社会の実現をめざす本市の今後の取り組みについて

一般質問

⑤増 富義明

- 浄化槽汚泥等の処理について
- ごみ処理について

⑥川村 辰夫

- まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- ごみ出しが困難な世帯への支援について
- 防災行政について

⑦相原 一永

- 教育行政について
- 中小企業の設備投資を促す制度について
- 期日前投票について

⑧阿佐 勝彦

- 手話言語条例制定について
- 徳島中央広域連合消防本部の救急車両増備について
- 食品表示法の改正について
- 災害時の避難道整備について

⑨田村 修司

- 上桜公園の美化について
- 下水道事業について
- 介護予防事業について

⑩岡田 光男

- 教員の働き方改革について
- Wi-Fiの整備について
- 子育て支援について
- 自治会費の抛出について
- 市道の管理について
- 徳島病院の移転について



枝^{えだ}
澤^{さわ}
幹^{みき}
太^た

(薫風会)

高越小・こども園の統合前の
特色ある取り組みの継続は

(質問)

残したい行事や活動を
総合的な学習の時間に行う

(答弁)

◎質問

高越小学校・こども園が全面開校して早や数か月が経過し、校区は美郷と山川町の山瀬地区を除く広大な地域となっている。
この校区は、児童・生徒の人数もさることながら、広さにも特長があるが、校区が広範囲となれば、統合前の各保育園、幼稚園、小学校の良き伝統行事や各校区での特色ある取り組みに少なからず支障が出ているのではな

いかと懸念されるが、今後はどのように継続していくのか。

◎住友副教育長

高越小学校では、地域と子どもたちが今後もつながり合い、地域を思う気持ちを育て「学校で教え、家庭でしつけ、地域で育てる」をスローガンに、地域とつながる学び舎の実現に向けて取り組んでいる。
具体的には、ほたるまつりへの参加につい

【その他の質問】

◎質問

近久児童館の指定管理者再募集後の経過は。

◎健康福祉部長

応募枠を県内の事業所に拡大し再募集を実施したが、応募がなかったため休館中である。
今後、再々募集によ

り開館できるよう努力したい。

◎質問

近久児童館再開の他に、子どもたちが安心して遊べる場所や施設はないのか。

◎健康福祉部長

子どもの居場所づくり対策施設として、放課後児童クラブや「ちびっ子ドーム」等の子育て支援拠点施設がある。

◎教育次長

放課後子ども教室や人権学習会を実施し、児童館や学童保育とは少し目的の違った学習活動となっている。

◎質問

スクールガードへの連絡体制は。

◎副教育長

登下校の時刻や日程が変更になる場合などは事前に行事予定表を配布し、急な日程変更の場合はメールおよび電話で連絡している。



和紙紙すき体験



美郷ほたるまつり

代表質問



福岡 岡正
(由美会・清風会)

福祉避難所の運営方法は

(質問)

要配慮者支援対策班と民間福祉施設が連携して開設を行う

(答弁)

◎質問

内閣府による福祉避難所の確保・運営ガイドラインでは、平時の取り組みなくして災害時の緊急対応を行うことは不可能であるとの認識に立ち、市町村を中心に平時の取り組みを進めるよう示している。

本市においては、平成30年度からの2か年で、福祉避難所運営訓練を実施し、災害発生時に円滑な運営ができる体制の構築に努めた

いとしている。

福祉避難所運営訓練を実施するにあたり、福祉避難所開設・運営マニュアルが必要となるが、作成にあたって現場の意見を反映しているのか。

また、マニュアルをどのように活かし、福祉避難所を誰がどのような形で運営するのか。

○宮本健康福祉部次長

福祉避難所開設・運営マニュアルは、平成29年4月から社会福祉

課が中心となり関係部局と検討を重ね、平成30年4月に原案を作成している。

今後、福祉避難所となる民間福祉施設に原案の説明を行い、訓練実施後、現場の意見を徴収し、反映した後、完成させる。

災害時には、このマニュアルが福祉避難所開設および運営の手順書となるため、マニュアルに従い行動し、様式を使って報告や要請を行っていく。

福祉避難所の運営については、地震発生から開設までは、要配慮者支援対策班と民間福祉施設が連携して開設を行う。

要配慮者の受け入れ後の運営は、要配慮者の付き添いの家族が生活支援を行いながらも、民間福祉施設にも協力をいただく。

一方、要配慮者支援対策班の職員は、担当施設を分担して運営状況を把握し、災害対策

本部への物資の要請や新たな要配慮者の受け入れ調整を行う等、福祉避難所全体の支援を行う。

◎再問

福祉避難所利用者の対象者は、どのように確認していくのか。

○宮本健康福祉部次長

市職員による要配慮者避難選定班が聞き取り調査を実施し、心身並びに身体の状態等を考慮して、一般の避難所より緊急性の高い人を優先的に福祉避難所へ移送する。

【その他の質問】

◎質問

職員採用試験について、過去5年間の一般行政職受験者申込者数に対する実際の受験者の率と競争倍率は。

○総務部次長

平成25年度が79.8%、10.7倍。平成

26年度が67.5%、10.8倍。平成27年度が78.9%、7.0倍。平成28年度が83.1%、7.7倍。平成29年度が88.6%、7.8倍である。

◎質問

採用試験の新方式の内容と期待する効果は。

○総務部次長

1次試験は、民間企業が持っている筆記試験を導入し、様々な資質・能力を持った方に広く受験していただけるものと期待している。

◎質問

1次試験が2種類あるが、2次試験においても別々の内容なのか。

○総務部次長

2種類の1次試験で、それぞれに合格者を決定し、2次試験では人物重視の観点から同じ内容の試験を予定している。

平成30年6月 議会定例会



栗原五男くわはらいつお

(志誠会)

ジェネリック医薬品の 利用啓発は

(質問)

広報に努め、普及をめざし
医療費削減につなげたい

(答弁)

◎質問

国民健康保険税が
他市に比べて高い本市
は、医療費を抑制する
ためにジェネリック医
薬品をどのように推奨
しているのか。

ジェネリック医薬品
は、厚生労働省の認可
を得て製造販売される
新薬と同じ有効成分を
含む医薬品であるが、
本市は全国でも特に需
要が少ない自治体であ
る。ジェネリック医薬
品の使用が増えれば医
療費が抑制でき、国保

◎安達市民部長

本市のジェネリック
医薬品の利用率と削
減効果額は、平成28
年度44.0%、約3、
419万円である。
医師会等へは、本年

税も下がり、徴収率も
上がると思うが、本市
のジェネリック医薬品
の利用率および削減
効果額、医師会等への
働きかけや市民への広
報・啓発活動は。
また、国保税の徴収
率は。

『その他の質問』

◎質問

アリーナ・交流セン
ター建設工事の仕様書
に県産材や市産材の使
用は取り入れているの
か。

◎建設部次長

設計図書の特記仕様
書に県産材を使用する
ように定め、個別に木
材を使用できるところ
には設計図に明記して
いる。

◎質問

中心市街地活性化に
民間のノウハウを取り
入れる考えは。

◎産業経済部長

民間の取り組みに大
いに期待するとともに
、関係部局等で連携
し調査・研究を進めた
い。

◎質問

危険家屋解体補助事
業の今年度の予定は。

◎建設部次長

国・県の交付金・補
助金は、市の予算措置
分25戸に対して国・県
とも10戸の配分となっ
ている。

◎質問

ふるさと納税の市民
税など歳入への影響額
は。

◎政策監

435万円の収入減
となる見込みである。

◎質問

スクールガードの状
況は。

◎副教育長

市内すべての小学校
に児童の登下校時など
に見守り活動を行って
いただくボランティアの
方々をスクールガード
として登録している。

◎質問

民生委員の職務内容
は。

◎健康福祉部次長

地域住民の生活に関
する相談・援助活動
等、地域福祉の増進を
図るための活動を行う
ことである。

◎質問

ハラスメントへの対
策は。

◎総務部次長

毎年、研修を実施
し、最新の知識を深め
るとともに、ハラスメ
ントを生まない職場つ
くりを努めている。



山添純二
(公政・郷土・麻植会)

健康長寿社会をめざす
本市の今後の取り組みは

(質問)

継続強化し、保健所管内での
情報交換を積極的に行いたい

(答弁)

◎質問

健康寿命とは、介護を受けたり寝たきりにならずに、自立して健康に日常生活を送れる期間のことである。

徳島県の男性の健康寿命は71・34歳で全国44位、健康寿命が長い1位の山梨県は73・21歳で、本県より2歳近く長い。また、本県の女性の健康寿命は74・04歳で全国43位、1位の愛知県は76・32歳で本県より2歳以上の開きがあった。

つまり、徳島県は自立して生活できる期間が他県よりも短い。

国は、健康寿命を延ばすため健康医療戦略推進法に基づき、介護なしで暮らせる健康寿命を、2020年までに1歳以上延ばすなどの目標を掲げている。本市も今後、健康寿命を延ばして健康自慢の市としてまちづくりを考えることも大事なのではないか。日本は、世界でもトップの長寿国となつ

たが、見方を変えると必ずしも健康寿命が長いと言えないところがある。本来、自分自身に備わっている健康寿命も医学の進歩により長くなっている気がするからだ。

全国で健康寿命を延ばしている自治体は、様々な対策、プランに取り組んでいるが、本市も、先進的な機関と連携をとり、効果的な取り組みを市民の皆様と共に考えていく必要がある。

健康長寿社会の実現をめざす今後の本市の取り組みについて、健康評価をどのように考えているのか。

○大塚健康福祉部長

健康寿命については、厚生労働省が3年ごとに実施される国民生活基礎調査の質問の中で「健康上の問題で日常生活に影響がない」と回答した人の割合や介護保険で要介護2以上の認定を受けて

いない人の割合などを基に算出し、全国と都道府県別を公表しているもので、平成22年から始まり今回が3回目の公表になる。本県は、順位は別にして健康寿命は延びる傾向になっている。

本市では、健康であり続けるために、病気の早期発見早期治療をめざし、40歳以上の方すべてを対象にした「がん検診」を実施し、40歳から75歳未満の方にはブック形式の受診券綴りを個人ごとに郵送している。再検査等が必要な方には受診勧奨を行い、早い段階で治療につながるよう取り組んでいる。

また、若い世代からも健康に関心を持ち、自らの健康状態を知って生活を送ってもらうために20歳から39歳の方には、「ヤング健診」を実施しており、乳幼児を持つ保護者には、子どもの健診の機会を捉えて受診を進め

たり、受診結果の説明を行っている。さらに、生活習慣病の予防対策として食習慣の支援も重要であり、「食生活改善推進員」が伝達講習や料理教室など幅広い年齢層にわかりやすい学習を行っている。

今後も、このような取り組みを継続強化し、吉野川保健所管内での情報交換を積極的に行い、早期発見早期治療につなげていきたい。



食生活改善推進員による伝達講習会



増
富
義
明

今後のごみ処理の方向性は

(質問)

新施設については、
本市単独での事業を進めたい

(答弁)

◎質問

平成30年度の当初予算ベースで、中央広域環境施設組合への負担金が8億6,500万円あまり、運転管理センターでのごみ収集業務費が2億円弱、合わせて10億円もの費用がごみ処理費として計上されている。
市民サービスの低下を少しでも防ぐために、一部事務組合の根

本的な見直しは行政として当然だと思うが、ごみ処理について本市の考えは。

○吉田環境局長

昨年度策定した「一般廃棄物処理基本計画」の中で、広域処理と本市単独処理について評価・検討を行い、運営費については、本市単独処理が大きく有利であるとの結果と

なった。

既存施設の使用期限の遵守と次期施設の効率的運営の確保を担保できるかを早急に判断する必要があると考えている。

◎再問

地方交付税が年々減少する中、次世代に負担を残さないように、住民サービスができるだけ地域で完結されるような仕組みを作るためにも、全庁あげての取り組みが必要と考える。

特に、ごみ焼却施設の建設事業については、莫大な費用がかかるため、早急な判断が必要だが今後の市の方針は。

○川真田市長

現在、中央広域環境施設組合による新施設事業の内容が不透明で

ある。

本市としては、既存施設の使用期限遵守を重く捉え、本市の事情で組合や他の構成市町にご迷惑をかけることは避けたいと考えており、新施設については、本市単独での事業を進めていきたい。

今後は、使用期限の遵守と併せて、効率的な事業となるよう関係部局で検討を行い、新施設の建設を進めたい。

【その他の質問】

◎質問

鴨島中央浄化センターへの浄化槽汚泥等の投入について、周辺住民への説明状況は。

○環境局長

周辺住民の皆様との協議を実施し、大半の方にご理解をいただいている。

会議録をご覧ください

議会だよりに掲載された事柄以外の質問や答弁の内容を吉野川市のホームページ内に掲載していますのでぜひ一度ご覧ください。

吉野川市議会会議録

検索



平成30年6月議会定例会

一般質問



川村 辰夫

ごみ出し困難者への
支援制度の構築は

(質問)

有効で持続可能な施策構築に
向け、調査・研究したい

(答弁)

◎質問

ごみ出し支援制度は、ごみ出し困難な世帯から要請を受けて、自宅への収集や自治会などへ収集の協力を依頼するなどの取り組みである。

イプがある。

直接支援型は自治体が運営主体となり、コミュニティ支援型は自治会やNPO等の地域主体による支援であるが、どちらを採用するにしても高齢化が急ピッチで進む本市では、ごみ出し支援は喫緊の課題である。

早急に現状を把握し、制度構築に取りかかる

最も有効で効果的な施策の確立ができると考えている。

また、先進地の事例も参考に有効で持続可能な施策構築に向け、調査・研究をしていきたい。

「その他の質問」

◎質問

麻栽培の特区申請等の断念後、それにつながる戦略もなく今日に至っているが、再度戦略を練り看板事業を展開すべきではないか。

◎政策監

市議会や地方創生推進会議をはじめ、市民から広くご意見をいただき、多方面から積極的に検討し次期総合戦略に盛り込めるよう取り組みんでいきたい。

◎質問

築34年経過している



相原 一永

期日前投票宣誓書を
投票入場券の裏に印刷しては

(質問)

次に予定されている選挙までに
間に合うよう事務を進めたい

(答弁)

◎質問

期日前投票に行くとき、期日前投票宣誓書を受付から渡され、氏名・住所・生年月日等を記入し、当日来られない理由に丸を付ける。本市では、選挙時にホームページから宣誓書をダウンロードし、書いて持参することができる。つまり、パソコンが

務の簡素化のため投票入場券を活用して期日前投票宣誓書を印刷してはどうか。

◎安達市民部長

自宅にパソコンがない方やパソコンが苦手な方は、有効活用できないという状況にある。本市においても検討する時期に来ており、期日前投票の手続きの

◎安達市民部長

できるだけ費用をかけずに入場券の裏面に宣誓書を印刷する方法など、早ければ次に予定されている選挙までに間に合うよう、スケジュールを立てて事務を進めたい。

「その他の質問」

◎質問

市内の中小企業等の設備投資を促し生産性向上を図る取り組みは。

◎産業経済部長

まずは、国の指針に基づき本市独自の「導入促進基本計画」を策定し、国から同意を得ることが必要となる。

◎質問

就学援助におけるランドセル等の新入学児童・生徒学用品費の支

が増加している。

このような中、国立環境研究所資源循環・廃棄物研修センターから「高齢者ごみ出し支援ガイドブック」が発表された。

この支援制度は、直接支援型とコミュニケーション支援型の2つのタ

必要があると思うが。

○吉田環境局長

ごみ出しが困難な世帯の収集については、何らかの対応が必要であると考えるが、まず本市の現状を的確に把握することが必要であり、その結果に基づき

自治会集会所併設の消防団詰所を改築する考えは。

○防災局長

改築となると新たに消防団詰所のための建築が想定され、集会所機能を併せ持つ施設の建設は難しいと考える。

自宅等にありネット環境が整い、プリンターのある方のみが活用できる。パソコンが苦手な方やネット環境が整っていない方は投票所で書かなくてはならない。

この不公平感をなくし、混雑防止と投票義

簡素化について前向きに検討したい。

○再問

来年の統一地方選挙・参議院選挙から期日前投票宣誓書を各家庭に事前送付できるよう準備してはどうか。

給を入学前の3月にしてはどうか。

○副教育長

他県の実施率や本県の他市町村の動向を勘案し、関係課と連携して来年3月の実施に向けて努力する。

必要ではないか。

○河野副市長

今年度、更新時期を迎えた救急車購入費用については予算措置を行っている。



阿 佐 勝 彦

救急車両を1台増車する 考えは

(質問)

本年度、更新時期を迎えた救急車購入費用についての予算措置をしている
(答弁)

◎質問

市内では、救急患者を受け入れる病院があるが、全てを受け入れることはできず徳島市等へ搬送している。
現在、徳島中央広域

連合消防本部には救急車両が3台あるが、全て出動し救急車両配備ゼロの時間がある。この時間は、年間どの程度あり、この間に出動要請はどれだけあった

○後藤田防災局長
昨年、出動可能な救急車がない時間は年間で146時間あり、その間に出勤要請があった場合は、出動中の救急車の帰還途上と病院収容後で82件、消防車での対応6件、家族等での対応1件であった。現在の配置数での対応は、限界を超えており救急車の増台は喫緊の課題と考えている。

○再問
両市の考えと、消防本部の整備計画が乖離しているとはどういうことか。
徳島中央広域連合が要望している職員数の採用および1台増車をするべきではないか。

○再々問
救急車両のない時に出勤要請を受ける隊員は「自分自身を追い詰める気分になる」と言う。
146時間の間に89件の出勤要請があったというの「危機管理の欠落している146時間」であり、「重大な過失の継続される時間」でもある。増車・増隊は急務で、対策が

更新する車両を予備車として利用すれば、「5台」の車両を有するので、後は運用次第と考える。
救急出動の軽減については、当面は転院搬送業務を徹底し、増車に伴う要員確保については、他市の例も参考にしながら「総て自己組織(現有職員)から捻出」を前提すべきと考えている。

平成30年6月議会定例会

一般質問



田村 修司

上桜公園に指定管理者制度を導入する考えは

(質問)

平成31年度導入に向けて準備を進める

(答弁)

◎質問

上桜公園の美化について、多目的グラウンド(仮称)の周りには大正池があり、その上には川島を見下ろせる展望台もあるが、せっかくある遊歩道も草が生え、近寄る人もいなくなつた。旧川島町の時は時々草を刈つてくれていたので、住民の散歩コースになつてお

解消し、多目的グラウンド、上桜公園、小グラウンドのすべてを一括管理し、総合運動公園とすることはできないか。現状のままで

は、多目的グラウンドの管轄は教育委員会、隣接する上桜公園は産業経済部となる。どちらかの部局が責任をもつて管理・運営する考えは。

これまでと同様に一般公園のグラウンドとして利用に供したいと考えている。多目的グラウンドの整備後は、双方のグラウンドの利用状況等を勘案し、関係部局等で連携し、調査・研究したい。

【その他の質問】

◎質問

下水道への接続工事の助成額が他市と比べると低額であるが、見直す考えは。

○水道部長

平成32年度に予定している戸別訪問事業までに検討したい。

◎質問

地域住民やボランティア団体の介護予防活動について、今後の育成策や助成は。



岡田 光男

教職員の長時間勤務の抜本的是正は

(質問)

夏に4日間の学校閉庁日導入などを計画している

(答弁)

◎質問

文部科学省は「教員の長時間勤務については看過できない大変深刻な事態」と見解を示しているが、本市における教員の長時間労働の状況と認識は。

◎再問

厚生労働省が過労死ラインとしている80時間を超えている。直ちに対策が必要と考えるが。

○住友副教育長

昨年7月の調査では、小学校教員の平均残業時間は57.6時は、小学校教員の平均残業時間は57.6時

学校の実情に応じてノー残業デーやノー部活動デーの設定などを推進している。さらに、心身の健康

【その他の質問】

◎質問

指定避難所にWi-Fiを整備する考えは。

○政策監

避難所機能等の取り組みの優先度も併せて考慮し、検討していきたい。

◎質問

自治会が神社の経費を徴収することについて、市の考えは。

○総務部長

会員すべての同意を得た上で行うことが重要と考えている。

◎質問

道路法面の雑草等の対応は。

○建設部長

地元の協力もいただき、予算並びに管理する人材確保を重点に検

独立行政法人国立病院機構徳島病院の 存続を求める意見書

○提出者 相原 一永 全会一致により可決

独立行政法人国立病院機構徳島病院は、傷痍軍人療養所から昭和20年12月に国立徳島療養所として発足し、現在、入院病床300床を運営されるとともに、四国で唯一の筋ジストロフィー医療施設であり、神経・筋疾患の基幹施設であると同時に徳島県難病医療ネットワーク事業における拠点施設として、難病医療の支援体制を担い、先駆的な研究や実践を行ってこられました。

また、南海トラフ巨大地震や活断層直下型地震などの大規模災害に対応する医療機能を強化するため、国の制度である「災害拠点病院」を支援・補完する役割を担う「災害医療支援病院」として平成25年に徳島県から指定され、平時はもとより災害時におきましても、その役割が大いに期待されているところです。

吉野川市にとりましては、こうした機能を担う中核的な医療機関が地域にあることは、市民が生活する上での安心・安全につながっていると同時に、重要な雇用の場にもなっています。

こうした折、平成30年2月21日、「東徳島医療センター及び徳島病院の統合に伴う新病院に関する基本構想について」が発表され、徳島病院の機能を東徳島医療センターの地に移転・統合することとされており、医療関係者、住民、議会など本市内外の様々なところから徳島病院の存続を望む声が挙がっております。

つきましては、今後とも医師の確保に努めていただき、平成25年に病棟の新築移転と総合リハビリテーションセンター開設により充実・強化を図られた病院機能を維持し、現在の徳島病院を存続していただけますよう強く要望いたします。

○提出先 厚生労働大臣 独立行政法人国立病院機構理事長

「農地バンクについて」



吉野川市では、全国の議会関係者からの行政視察を積極的に受け入れています。
●平成30年7月12日（議員6人・随員1人）
秋田県潟上市議会 産業建設常任委員会

行政視察受人状況

り、コースのいたるところにある石碑には、俳句が刻まれている。この際、大正池周辺と上桜公園を市民の憩いの場としてよみがえらせるため、指定管理者制度を導入すべきではないか。また、縦割り行政を

○三木産業経済部長
上桜公園の指定管理者制度の導入については、周辺の環境変化等に鑑み、平成31年度からの制度導入に向け、諸準備を進めている。また、総合運動公園として一括管理することについては、当面は

○健康福祉部次長
介護予防活動の場の設置状況や参加者の状況などを精査し、参加者や通いの場が継続的に拡大していけるよう助成を検討していく。

間、中学校では84.1時間であった。この調査結果を重く受け止め、長時間労働の状況を改善し、心身ともに健康で安心して働ける職場づくりを一層推進していくことが重要と認識している。

増進のために8月12日から15日まで学校閉庁日として、日直を置かない日の導入を計画している。
また、「吉野川市運動部活動のあり方に関する方針」を作成している。

○市長
機会ある毎に強く存続の要望を行いたい。

◎質問
徳島病院の移転について、今後どのように取り組むのか。

○質問
徳島病院の移転について、今後どのように取り組むのか。

募 集 要 項

表紙の写真募集



テ ー マ 吉野川市内で撮影した風景や祭りなど、季節感のあるものをお願いします。

規 定 モノクロおよびカラープリント
2L判～四切・W四切組
写真またはデータも可(3点まで)
住所・氏名・電話番号・題名を明記。

締め切り 平成30年9月30日(消印有効)
発行は11月です。

そ の 他 作品の返却は行いません。採用された作品の使用およびトリミングなど加工については、吉野川市議会広報特別委員会に帰属することをご了承ください。

応 募 先 〒776-8611
吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL (0883) 22-2241
FAX (0883) 22-2242

クイズ

美郷地区の地名です。読みを答えてください。

- ① 暮石 ② 山王 ③ 花地 ④ 棚谷
⑤ 倉羅 ⑥ 張 ⑦ 下畠 ⑧ 刷石

◎ 正解者の中から抽選で10名様に吉野川市ブランド認証品を進呈します。

◎ 応募要項 はがき、またはFAXに答えると郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、議会事務局へお送りください。応募の際に「チョットひと言」添えてみませんか。

◎ 送り先

〒776-8611 吉野川市議会事務局
TEL (0883) 22-2241
FAX (0883) 22-2242

◎ 締切日 平成30年9月30日(消印有効)
※次号は鴨島地区の地名を予定しています。

ぜひ応募してください！

チョットひと言

☆たくさんの人参をいただきました。料理のレパートリーを増やしたいなあ。

☆いつも感謝を忘れずに、くよくよ思わず言わず、元気に毎日遊んでいます。

☆孫が「すっぱい」と言いながら美郷の梅干しを食べられるようになりました。

(前回の解答)

- ① 翁喜台 ② 恵下 ③ 木綿麻山
④ 榛木原 ⑤ 槻原 ⑥ 鼓山
⑦ 赤刳 ⑧ 高頭

【応募総数】39通

あとがき

6月議会最終日に「徳島病院の存続を求める意見書」が多くの傍聴者の見守る中、全会一致で可決された。

4月には、市長も独立行政法人国立病院機構の理事長に会い、存続に向けての要望をしてきたばかりだ。

折しも梅雨の最中、各地で大雨による避難勧告が出されている。テレビでは、避難先を公共施設ではなく、一軒の民家に決めている集落がクローズアップされ、近所の人たちが茶の間に避難している姿が映し出されていた。その家は少し高台にあり、地盤が強固なところに位置しているということであった。

7月4日に徳島病院から移転についての説明会があった。その中で、筋ジストロフィーの患者さんは、「移転先が真っ赤

になっている防災マップが脳裏から離れない。今の徳島病院は安住の地だと思っていたのに、洪水等で浸水する場所への移転は耐えられない」と胸の内を明かした。

高台にあり、地震にも強い徳島病院は、県の災害医療支援病院に指定されている。県民の命を守るためにも、何としても残すべきではないだろう。

岡田 光男



【編集委員】

- 委員長 福岡 正
副委員長 岡田 光男
委員 河野 利英
委員 栗原 五男
委員 近久 善博
委員 山添 純二